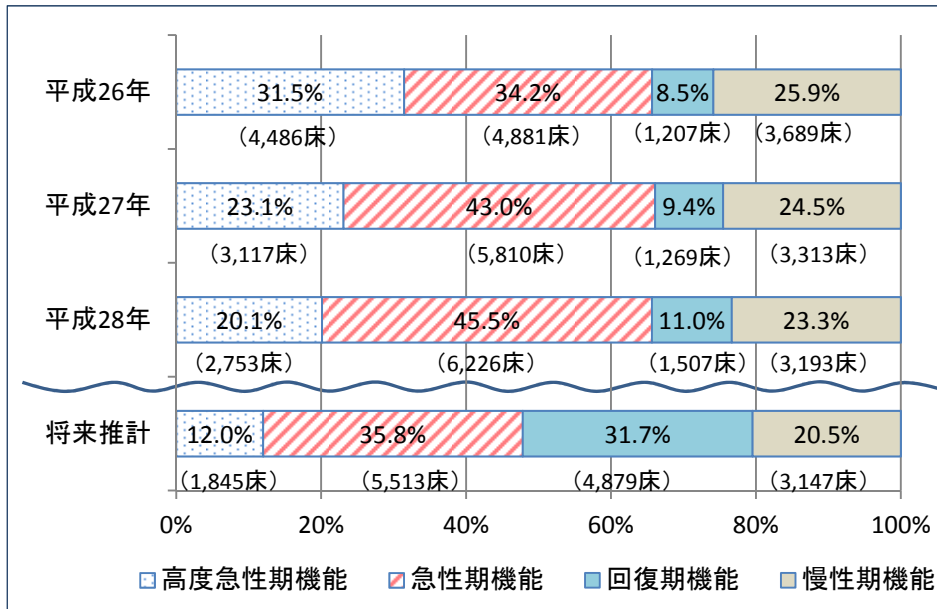
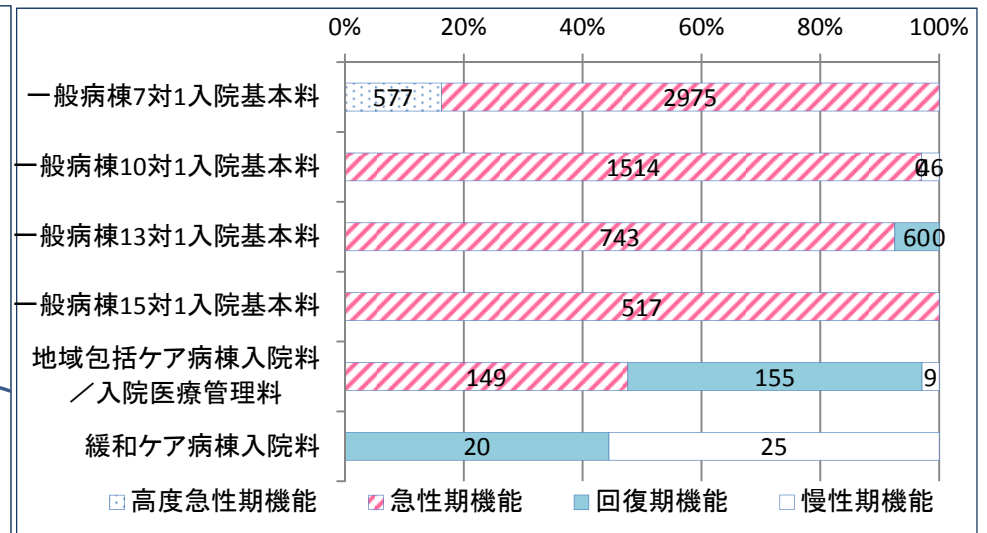


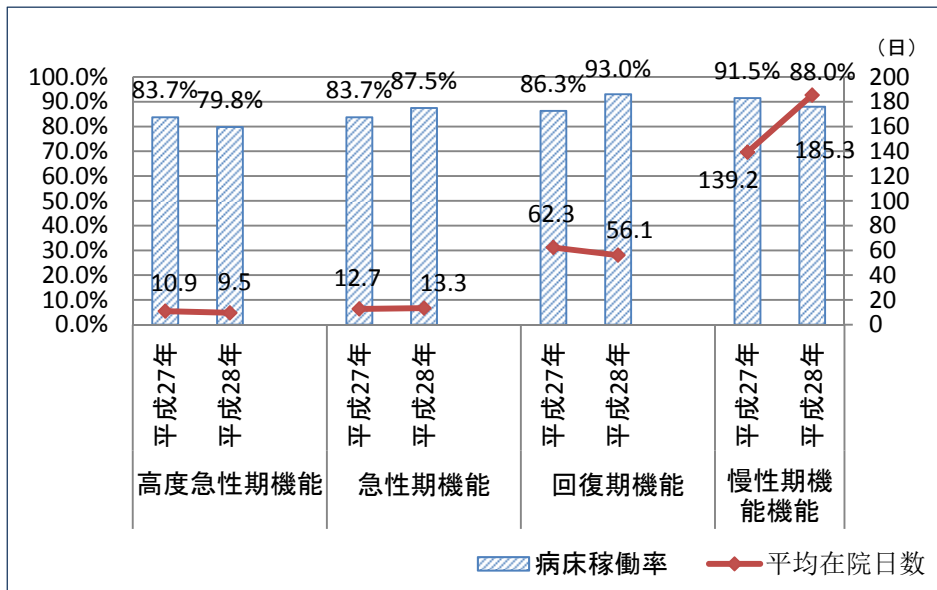
①4機能別病床数の推移(平成26年度～平成28年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度・平成28年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	4603 94.9%	20 0.4%	47 1.0%	178 3.7%
急性期機能	9095 87.1%	302 2.9%	403 3.9%	640 6.1%
回復期機能	387 58.7%	25 3.8%	155 23.5%	92 14.0%
慢性期機能	312 75.2%	16 3.9%	23 5.5%	64 15.4%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 62.9%

- ①H27からH28にかけて急性期機能の増(7:1病床の増)、回復期機能の増(回復期リハ病床の増)
- ②回復期機能において、在院日数が短くなり病床稼働率が上がっている
- ②慢性期機能では、在院日数が長くなり、病床稼働率が下がっている
- ③地域包括ケア病棟では、急性期機能と回復期機能の報告がほぼ均衡
- ③緩和ケア病棟では、回復期機能と慢性期機能の報告がほぼ均衡
- ④回復期機能で、退院後に他施設が在宅医療を提供するという割合が高い